



近畿支部会報2020年10月号

一年を通して、神社とお寺に行くのが大好きです。いつもの秋は、家の近くにある雙栗（さぐり）神社と御旅所へ神幸祭・宵宮・還幸祭を見に行きます。かわいいお稚児さんに、天狗・お神輿が出てとても賑やかです。しかし、今年は縮小された内容になっていました。とても残念でした。



国の文化審議会は 16 日、疫病退散を祈願する祇園祭を営む京都東山区の八坂神社の本殿1棟を国宝に指定し、社殿群は重要文化財に追加するよう文科省に答申したそうです。八坂神社の宮司さんも「今夏の祇園祭は新型コロナ禍で検討したが、来年はいつも通りの祭礼を営みたい」と話されている京都新聞を読みました。私も毎年のお祭り・行事を楽しみに過ごしているのですが、来年こそはと心待ちにしています。みなさんの周りでもいろいろ計画が変更されたりしていると思いますが、これからの季節は、かぜ・インフルエンザ・コロナウィルスと、体調に気をつけてください。

例会の場所を、京都市下京いきいき市民活動センターで行いました。京都駅からも近く総会もこの会場をお借りしています。

2019年8月24日に我が家に両親と一緒に来てくれた、B D(ドイツ)さんに留学の話を書いてもらいました。残念ながら高齢の義母が同居のため、再会は次回にお預けになりました。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

1. 例会報告……………Zoom オンラインミーティング	久御山町 Ak
秋例会	京都市 Wh
(議題討議)……………	久御山町 Ak
ヒロシマ・母達の祈り DVD を見ての感想……………	大津市 Wa
2. トラベラー日本留学体験報告……………コロナ禍での留学 (B D, ドイツ)	
3. トラベル報告……………舞鶴市の会員を訪ねて	京都市 Wh
4. お知らせとお願い……………	支部長 Ak

1. 例会報告

Zoom オンラインミーティング

久御山町 Ak

9月20日(日)14時～16時まで、初めて会員交流Zoomオンラインミーティングをしました。参加者は、Tkさん、Onさん、Mtさん、Whさん、Htさん、Myさん、Kyさん、Ak、Atの9人で始めました。一人ずつ近況報告をして交流しました。Onさんからイタリアでの最近の様子をお話していただきました。日本政府は仕事関係の人たち優先に入国させようとしています。トラベラーとしての交流は、まだ先になるでしょう。早く、自由に旅行できる日が待ち遠しいです。Zoomオンラインミーティングのホストをする場合、無料でできる時間は45分間です。話の途中で切断されたため、再度、入りなおすことが要求されます。外出しなくても会員同士交流ができます。次回にも計画したいと思います。是非、ご参加ください。

秋例会報告

京都市 Wh

10月4日爽やかな秋風が吹く日曜の午後、コロナ禍の中での対面会議が実現しました。

リモート会議はやはりモヤモヤしたものを感じておられたのではないのでしょうか。会場は京都駅から徒歩7分の所にあり、この日はM夫妻、A夫妻、Htさん、Waさん、Whの7名の参加でした。私が会場に着くと、Htさんの着物リメイクで盛り上がり、賑やかな声が耳に飛び込んで来たのでお部屋はすぐにわかりました。カーテンが揺らぐ小奇麗なお部屋は、ソーシャルディスタンスをとるには十分な広さでした。

今年は戦後75年目ということで原爆ビデオの鑑賞は戦争の悲惨さ改めて考える良いきっかけになりました。

今年はある意味見えない敵との戦争のような一年でした。お家から出られず皆さんはどのように過ごされていたのでしょうか。私の楽しみのひとつが、皆さんの旅行体験やSERVASゲストのお話を聞くことでしたが、今回はそれが出来ず、少し残念な例会となりました。

まだ先は不透明ですが、このような事態も笑い話となり、次回の例会にはお元気な明るい笑顔にお会いしたいと思います。



議題の討議

(報告 Ak)

来年度は、役員改選であるが、申し入れがありませんでした。総会までには候補を決めたいと思います。

総会は、12月6日(日)14時~16時、京都市下京いきいき市民活動センター2階 会議室2で予定しています。議題 役員改選のお知らせを出したが、会員から連絡がなかった。総会までに、現役員の継続をお願いし、Fhさんは、メーリングリストから広報として名前変更の連絡をする。

総会までに、事業計画等…Ak、会計報告(案)…Wh

Htさんから、SERVAS国内会議予定、国際本部、他支部会の様子を聞く。

DVD 鑑賞 「ヒロシマ・母たちの祈り」「The A-bomb」ヒロシマで何が起こったか

「ヒロシマ—母たちの祈り」を見て

大津市 Wa

広島・長崎の原爆被害の実態はこれまで様々な機会に、幾度となく映像や実体験の方々の語りに学んできました。人類史上経験したことのない苦痛と苦難の中で亡くなった方たち、生き延びてもさらに治療の方法もなく日々の艱難に耐えてきた方たち、被爆だけでも不幸の極みなのにその上ヒバクシャと言われぬ差別まで加わって…実体験のない私にもまだまだ沢山の思い出すのも辛い原爆に関することどもがあります。

そういう中で、今回、特筆すべきことはこのフィルムが長年保管されたままになっていて、容器の缶は錆びはじめており、フィルムもカビが発生している状態で見つかったことです。これを制作なさった方々の篤い思いと、そこに記録された多くの被爆者の方々の並々ならぬ苦痛がそのまま忘れ去られることを許さなかったに違いないと思われました。

沖縄戦をアメリカが撮影したものをワンフィート運動によって日本が買い取って上映されたフィルムをひめゆり平和祈念館で見たのは20年前でした。

今回の「母の祈り」は日本が撮影したものです。そこに籠められた思いは計り知れないものがあるはずです。ようこそそのまま錆びきってカビだらけになる前に見つけたことと安堵せずには居られませんでした。

ところが今回私自身の変化に自ら驚いたことがありました。これまではどんな辛い場面も目をそむけてはいけ
ないと誰に命ぜられたのでもなく思ってきました。見ている自分の辛さとは想像を絶するご本人の辛さに目を閉
じてはいけないと思ってきたはずでした。それなのにもう目を
閉じてその場面が終わるのを待っている自分がいました。こ
れは私の老いの一つかと自覚せざるを得ませんでした。

帰宅してからはあんまり辛くて、「あの痛みや苦しみが我が
身のこととして感じたからかもしれない」と自分に言い訳をし
ていました。

ともかく原爆被害者の苦難の風化を防ぐ一つの大切な資
料を共に観る事ができた貴重な体験でした。

75 年間この原爆被害一つだけでも戦争の虚しさ・愚かさ・
悲しさを忘れてはいけ
ないと記憶の風化に抵抗してきました。それでも日本政府は唯一の被爆国でありながら核兵器禁止
条約に署名できずにいます。本来率先して批准すべきであり
ながら。

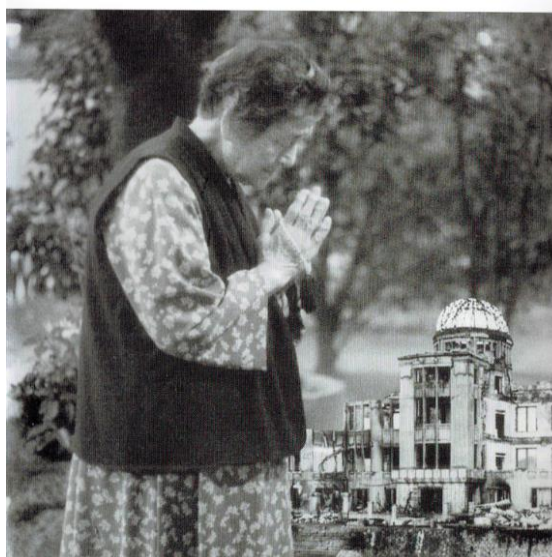
フィルムを見たあとの語り合
いで Mt さんが「あつてはなら
ない戦争でありながら、実行を阻止しきれない現実がある・・・」
ことを話されました。サーバスの存在理由、メンバーであるこ
との意味をあらためて問われた支部会でした。

文部省選定
日本視聴覚教育協会優秀作品賞

原爆記録映画

ヒロシマ・母たちの祈り

HIROSHIMA: A Mother's Prayer
A-Bomb Documentary Film:



2.トラベラー日本留学体験

コロナ禍での留学

(BD, ドイツ)

こんにちは！B・D です。ドイツの大学生ですが、今年 6 ヶ月東京の早稲田大学に留学しました。さっき、9 月
末に帰りました。3 月に日本に入ってから、ずっとコロナ禍での生活でした。

日本に来る前は、よく準備してみました。1 年日本語を勉強したり、
大学に申し込んだり、ビザを申請したりしました。でも、コロナウイ
ルスで、2 月にオリエンテーションがキャンセルになって、授業の
始まりが延期になりました。ですから、4 月まで待とうと
思っていて、予約した便をキャンセルしました。

しかし、その後、ドイツからの出発は急にしました。3 月に、大使
館から、3 日後入国禁止が始まるのを知りました。今すぐ行くかど
うかを決めなければなりません。すると、明日の航空券を買
って、荷物をスーツケースに詰めて、家族に「さよなら」を言いまし
た。入国禁止まで 20 時間以内、日本に入りまして、寮に到着しました。





早稲田の寮は、留学生専用で、皆さんは海外から来ました。200人が転入する予定でしたが、2人だけ到着しました。幸い、他の着いた方と友達になりました。全部で、50人しか住んでいなくて、ずっとちょっと寂しかったです。3月から5月は、大体部屋にいました。もうすぐ、漢字の勉強を始めまして、毎日30の漢字を覚えました。自転車を買ってから、よく東京のサイクリングして、公園で本を読みました。いつか大学へ行って、観光することができるかどうか知りませんでした。その時は本当にたいへんで、つまらなかったですが、できるだけ時間をうまく使ったと思います。

もっと後、オンライン授業が始まって、事態が段々よくなりました。あいにく、オンラインコースで、日本人の学生にあまり会いませんでした。友達はほとんど留学生でした。一緒に、東京の観光して、ハイキングして、よく日本料理を食べに行きました。

学期が終わってから、日本の中で旅行さえてきました。特に、四国一周サイクリングしました。徳島から、高松、松山、足摺岬、高知まで自転車で、900キロでした。本当に素敵な風景見えたり、親切な人に会いました。初めて、日本語で会話を続けられました。気持ちが本当に良かったです！

合わせて、留学はとても楽しかったです。日本や日本人や日本料理が好きで、ぜひまた来たいです！

3. トラベル報告

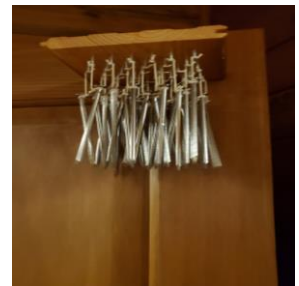
舞鶴を訪れて

京都市 Wh

今回2度目となる国内SERVAS旅行で、舞鶴のKさん宅にお邪魔しました。私は京都市内の中心に住んでいますが、全く真逆の環境の中に山小屋風のKさん宅はありました。

初めての京都縦貫道で約2時間弱、自宅をPM3時半頃出発しましたが明るいうちに到着できほっとしました。

案内されたお部屋のドアチャイムは、ご主人の手作り(材料は釘)で癒される優しい音でした。



夕食は大好物の三食井で、お母さん手作りの紅しょうがが可愛く添えられていました。勿論大好きなビールで乾杯もしました。翌日は近畿百景第一位の絶景を五老スカイタワーから堪能しました。コロナ禍でも少なくお天気にも恵まれ、のんびりとゆったりとした時間の中でたくさんおしゃべりも出来きて良かったです。その後Htさんの甥っ子さんのお勧めのレストランでランチして、無人駅(駅名忘れました)の中の日本茶の喫茶店でほっこりして帰宅の途につきました。近くに温泉もあるとのこと、次回は是非行きたいと思います。

木の温もりのお家で又訪れたいくなるK家のおもてなし、本当にありがとうございました。

4.お知らせ

支部長 Ak

*次の総会は2020年12月6日(日)14時～16時。
京都市下京いきいき市民活動センター 2階 会議室2
詳しくは追って連絡しますので宜しくご予定下さい。

以上